

# 2

## 会期等における横浜市の取組

世界に向けた横浜市の取組の発信	010
会議参加国との交流	024
ホストシティとしての貢献	029

世界に向けた横浜市の取組の発信

市長とアフリカ22か国の代表とのバイ会談

山中市長が、第9回アフリカ開発会議（TICAD9）に参加されるために来訪された、アフリカ各国代表団の団長をはじめ関係者の皆さまと面会しました。横浜市がアフリカ各国で行っている技術協力の紹介や「GREEN×EXPO 2027」のPRを行い、都市間の連携強化について意見交換を行いました。

開催概要

期 間：2025年8月18日(月)～8月23日(土)

会談の様子

8月18日(月)



リビア国 ラーフィー首脳評議会副議長

8月20日(水)



ケニア共和国 ルト大統領



ベナン共和国 チャビ・タラタ副大統領



ボツワナ共和国 ハオラテ副大統領



コモロ連合 アザリ大統領



チュニジア共和国 ザアフラニ首相

8月21日(木)



カメルーン共和国 ウスマン・メイ経済・計画・国土整備大臣



カーボベルデ共和国 コレリア・エ・シルヴァ首相



コンゴ共和国 サス・ンゲゾ国際協力・官民連携推進大臣



コートジボワール共和国 マンベ首相



ジブチ共和国 オマール外務・国際協力大臣



エチオピア連邦民主共和国 ハデラ・アベラ外務副大臣



ガボン共和国 オナンガ・ママドゥ・ンディアイ外務・協力大臣



リベリア共和国 ボアカイ大統領



ルワンダ共和国 シンドゥンギレヘ外務・国際協力大臣



南スーダン共和国 セマヤ外務・国際協力大臣

8月22日(金)



レソト王国 マテカネ首相



マラウイ共和国 テンボ外務大臣



セネガル共和国 ファイ大統領



タンザニア連合共和国 コンボ外務・東アフリカ協力大臣

8月23日(土)



ギニアビサウ共和国 サンプ経済・計画・地域統合担当大臣



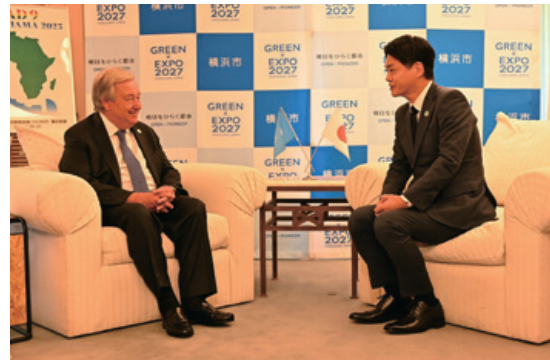
ザンビア共和国 ナルマンゴ副大統領

## 国連事務総長等との面会

### アントニオ・グテーレス国連事務総長との面会

- 1 日時：2025年8月21日(木)
- 2 会場：横浜国際協力センター
- 3 内容：

山中市長が、TICAD9への出席のために来浜されたアントニオ・グテーレス国連事務総長と面会しました。市長より、持続可能な社会の実現に向けた事務総長のリーダーシップに敬意を表するとともに、横浜市は、環境や次世代育成の分野での連携強化など、国連の活動に一層協力し、国際社会に貢献していく決意をお伝えしました。



### 国連人間居住計画（UN-HABITAT）事務局長との面会

- 1 日時：2025年8月21日(木)
- 2 会場：横浜国際協力センター
- 3 内容：

山中市長が、TICAD9への出席のために来浜されたアナクラウディア・ロスバッハUN-HABITAT事務局長と面会し、SDGsや気候変動対策における都市の知見を国際社会に共有していくことについて意見交換しました。



## 世界に向けた横浜市の取組の発信

# 「アフリカのきれいな街プラットフォーム(ACCP)」 第4回全体会合

横浜では2回目となる全体会合を開催しました。アフリカ各国・各都市や国際機関等が参加し、廃棄物管理の技術、ガバナンス、情報、資金動員等の重要性や適切な廃棄物管理のあり方について、活発な意見交換がなされるとともに、本会合での成果文書として、今後3年間の活動を示す「新・横浜行動指針」が発表されました。

## 開催概要

期 間：2025年8月20日(水)～8月21日(木)

会 場：パシフィコ横浜 アネックスホール

主 催：環境省、独立行政法人国際協力機構（JICA）、横浜市、国連人間居住計画（UN-Habitat）、  
国連環境計画（UNEP）

## 参加人数

延べ約360人

## 主な参加者

日本側：環境省、JICA、横浜市（横浜市長 山中竹春、  
資源循環局長 吉川雅和）、民間企業等

アフリカ側：ACCP加盟国・都市

国際機関：UN-Habitat、UNEP、関係国際機関



ACCP公式ロゴ

## 内 容

初日には、オープニングセッションで山中市長が挨拶したほか、アフリカ各国が直面する廃棄物管理の課題に関する発表・意見交換を行いました。横浜市からは廃棄物管理の取組を発表し、それに続き、市立みなとみらい本町小学校5年生が、これまで取り組んできた廃棄物管理に係るSDGsの学習の成果をプレゼンテーションするとともに、SDGsの活動を広めるために自作した校歌を披露しました。また、環境省が新たに設立した「アフリカ向け廃棄物管理のための事業形成ファンド」について、設立のアナウンスや説明を行い、参加者のファンドに対する理解を深めました。

2日目には、テーマ別セッションにおいて「持続可能な財政政策による廃棄物管理の推進」や「より良い廃棄物管理のための協働」に関して知見の共有がされるとともに、ハイレベルセッションにおいて「持続可能な廃棄物管理に向けた政治的コミットメントと投資促進」に関して議論がなされました。



山中市長による開会挨拶



20日の開会登壇者

## プログラム

日付	内容
8月20日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○開会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・横浜市（山中市長）による挨拶 他</li> </ul> </li> <li>○テーマ別セッション <ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物管理に係る国家政策及び地域・国際的枠組みとの連携強化</li> <li>・信頼性の高いデータ収集と適切な管理の実現</li> </ul> </li> <li>○スペシャルセッション <ul style="list-style-type: none"> <li>・「横浜市の取組 廃棄物管理と市民との協働について」</li> <li>・横浜市立みなとみらい本町小学校の5年生の皆さんによる取組発表</li> </ul> </li> <li>○アフリカ参加国からのステートメント</li> </ul>
8月21日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○テーマ別セッション <ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な財政政策による廃棄物管理の推進</li> <li>・より良い廃棄物管理のための協働</li> </ul> </li> <li>○アフリカ参加国からのステートメント</li> <li>○ハイレベルセッション <ul style="list-style-type: none"> <li>「持続可能な廃棄物管理に向けた政治的コミットメントと投資促進」</li> </ul> </li> <li>○「新・横浜行動指針」の発表</li> <li>○閉会</li> </ul>



横浜市の取組 廃棄物管理と市民との協働について



横浜市立みなとみらい本町小学校による登壇

# TICAD Business Expo&Conference 「Japan Fair」への参加

独立行政法人日本貿易振興機構（JETRO）の主催により開催された企業展示会「Japan Fair」に、市内企業7社と共に「横浜ブース」を出展しました。開会式では山中竹春市長も立ち会い、テープカットが行われました。

## 開催概要

期 間：2025年8月20日(水)～8月22日(金)

会 場：パシフィコ横浜 展示ホールB・C

主 催：日本貿易振興機構（JETRO）

## 参加人数

来場者数：約1万人、出展日本企業：195社

## 主な参加者

日本及びアフリカ各国首脳・閣僚等政府要人、プレス関係者、ビジネス関係者等

## 内 容

「横浜ブース」では、公募により市内企業7社が出展し、都市課題や環境課題に資する製品やサービス等をアフリカ各国からの来場者（約700人）にPRしました。各企業による展示に加え、来場者向けのプレゼンテーションも行いました。横浜市の展示では、これまでのアフリカとの絆を多くの写真で紹介すると共に、未来の持続可能なグリーン社会に向けた横浜の取組及びGREEN×EXPO 2027をPRしました。

### 「横浜ブース」への出展市内企業（7社）一覧

企業名	事業内容
株式会社エスビーティー	中古車輸出等
株式会社 京三製作所	信号システム、交通管理システム、電力変換システム
株式会社 サカタのタネ	種苗の生産販売、研究開発等
株式会社JVCケンウッド	モビリティ&テレマティクスサービス分野、セーフティ&セキュリティ分野、エンターテインメントソリューション分野
つばめBHB株式会社	オンサイトアンモニア供給システムの研究開発、販売及び設備保全
日之出産業株式会社	排水処理薬品、設備計画、設計、製作、施工・メンテナンス、水質分析、微生物分析
横浜ウォーター株式会社	上下水道施設関連

※パネルはP146-P148



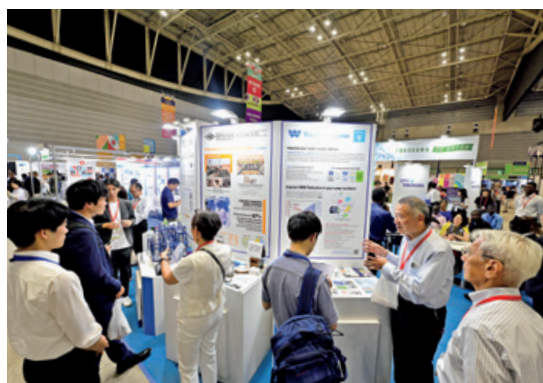
セネガル大統領来場



開会式でのテープカット



企業展示の様子 (市長来場)



企業展示の様子



企業プレゼンテーションの様子



横浜ブースの様子



横浜市展示 (左・右)



## 世界に向けた横浜市の取組の発信

TICAD Business EXPO&Conference  
「テーマ展示」への出展

TICAD9のテーマ別イベントとして「TICAD Business EXPO&Conference」をJETROが主催しました。本イベントはJapan Fair（日本企業ブース出展）、Africa Lounge（アフリカ企業ブース出展）、イベントステージ、テーマ展示で構成されており、テーマ展示において、上下水道の一連の流れや横浜市が世界に誇る技術に関する展示を行いました。

## 開催概要

期 間：2025年8月20日(水)～8月22日(金)  
会 場：パシフィコ横浜 展示ホールB・C  
主 催：日本貿易振興機構（JETRO）  
共 催：アフリカビジネス協議会  
後 援：経済産業省、外務省

## 参加人数

来場者数：約1万人（TICAD Business EXPO&Conferenceへの来場）

## 内 容

- 取水から蛇口までの工程を一連で見せる「上水道システム」解説スライド
- 家庭排水が処理場を経て放流されるまでを見せる「下水処理の流れ」解説スライド
- 横浜市が誇る「上水道」技術の解説パネル（「無収水対策」及び「膜ろ過方式」）
- 横浜市が誇る「下水道」技術の解説パネル（「汚泥の資源化利用」）
- 実際に使用している漏水探知機
- よこはまの下水道システムおよび汚泥のリサイクルに関するパンフレット
- 上下水道で共同運営する横浜水ビジネス協議会の紹介パネル



テーマ展示「URBAN DEVELOPMENT」



上水道に関する展示



下水道に関する展示

## 横浜市PRブース出展

TICAD9テーマ別イベントとして、横浜市の取組を紹介するブースを出展し、横浜市職員がPR活動に従事しました。来場者からは、市の取組に対し自国との連携依頼等もあり、さらなるアフリカと横浜のつながりとなる機会となりました。

### 開催概要

期 間：2025年8月20日(水)～2025年8月22日(金)  
10:00～19:30 (22日は14:00まで)  
会 場：パシフィコ横浜 展示ホールD

### 来場者数

147人

### 内 容

- 横浜とアフリカとの技術協力の取組紹介 (動画)  
【資源循環局】
- 横浜とアフリカとのつながり・交流紹介 (動画)  
【ボツワナ共和国と都筑区・横浜市立茅ヶ崎小学校、  
ケニア共和国と横浜市立横浜商業高校】
- GREEN×EXPO 2027のテーマ及び開催概要の紹介  
【脱炭素・GREEN×EXPO推進局】
- 横浜市の気候政策に関する取組の紹介 (リーフレット)  
【国際局】
- 横浜の都市デザイン「URBAN DESIGN YOKOHAMA」(冊子)  
【都市整備局】
- YOKOHAMA SEWAGE WORKS (リーフレット) 【下水道河川局】
- 国際貢献のあゆみ (リーフレット) 【水道局】



横浜市の取組紹介パネル



PRブース



職員による紹介の様子(左・右)

## 都筑・ボツワナ交流児童画展

2014年から毎年開催している、横浜市立茅ヶ崎小学校とボツワナ共和国ベン・テマ小学校の児童が生活の様子などを絵に描いて送り合う「都筑・ボツワナ交流児童画展」において、ベン・テマ小学校の児童が描いた絵画を、パシフィコ横浜で開催されたTICAD9のテーマ別イベント内で掲示・紹介しました。



ボツワナ共和国 ハオラテ副大統領による視察

### 開催概要

期 間：2025年8月20日(水)～8月22日(金)

10:00～19:30 (22日は14:30まで)

会 場：パシフィコ横浜 展示ホールD

主 催：横浜市(都筑区)、つづきMYプラザ

### 内 容

TICAD IVの「一校一国運動」を契機として市立茅ヶ崎小学校とボツワナ共和国ベン・テマ小学校との交流が始まりました。その後、両国の3年生が絵を描いて送り合う「都筑・ボツワナ交流児童画展」を2014年から毎年開催しています。この取組は、両国の大使館とJICA、無償で輸送協力いただいている日本通運株式会社をはじめ多くの関係者のご協力のもと継続的に実施しています。

パシフィコ横浜で開催されたTICAD9のテーマ別イベント内では、「都筑・ボツワナ交流児童画展」において、ベン・テマ小学校の児童が描いた絵画のうち、各年4点ずつ、11年分の計44点を展示しました。あわせて、「都筑・ボツワナ交流児童画展」の具体的な流れを紹介するポスターも展示しました。



# ～Discover Tunisia～ 次世代が挑むビジネス課題と新たな可能性

チュニジア共和国サラ・ザアフラニ・ゼンズリ首相等による記念講演のほか、チュニジアおよび日本の有識者と高校生によるチュニジアの都市課題解決を題材としたパネルディスカッションが行われました。

パネルディスカッションでは、横浜青年会議所理事長より、水道局の国際貢献の取組や、横浜みどりリアップ計画について紹介されました。

## 開催概要

日 時：2025年8月21日(木)10:00～11:30  
会 場：パシフィコ横浜 展示ホールD  
主 催：横浜青年会議所  
共 催：横浜市国際局

## 参加人数

107人

## 主な参加者

チュニジア共和国首相、チュニジアJCI会頭、  
チュニジア外国投資振興庁長官、JCIアジア太平洋担当常務副会頭、JICA、民間企業、市立横浜商業高校生徒代表

## 内 容

### オープニングメッセージ

- 佐藤 広毅 横浜市副市長
- 草間 剛 衆議院議員
- 佐藤 祐文 横浜市会議員

### 記念講演

- サラ・ザアフラニ・ゼンズリ  
チュニジア共和国首相
- マーク・ジョセフ・デイビッド  
JCIアジア太平洋担当常務副会頭
- アメニ・スリメネ JCIチュニジア会頭
- ジャレル・テビブ チュニジア外国投資  
振興庁長官

### パネルディスカッション

- 不破 直伸 JICA スタートアップ・エコシステム構築専門家
- 寺久保 拓摩 UNCOVERD FUND CEO兼ゼネラルパートナー
- 長谷川 陽向 横浜商業高校 生徒代表



「Discover Tunisia」の登壇者



チュニジア共和国首相による記念講演



横浜商業高校の生徒を交えたパネルディスカッション

## アフリカにおける気候・水関連レジリエンス

国土交通省水管理・国土保全局は、水分野（水資源・上下水道・防災）の課題を抱える各国と防災協働対話等を実施してきました。日本の高いインフラ技術を強みにアフリカ諸国を含むグローバルサウス等へ更なる展開が必要であるため、アフリカ諸国との関係強化を目指し、TICAD9でテーマ別イベントを開催しました。

このイベントに横浜市水道局が登壇し、横浜市の取組を紹介しました。

### 開催概要

期 間：2025年8月21日(木)14:00~15:30

会 場：パシフィコ横浜アネックスホール

主 催：国土交通省水管理・国土保全局

共 催：アフリカ開発銀行（AfDB）、水災害・リスクマネジメント国際センター（ICHARM）、宇宙航空研究開発機構（JAXA）、国際協力機構（JICA）、水資源機構（JWA）、国土交通省（MLIT）、OECD開発センター（OECD Development Centre）、国連地域開発センター（UNCRD）、国連防災機関（UNDRR）、世界銀行（WB）

### 参加人数

約150名

### 内 容

#### 1 開会挨拶

国土交通省技監

#### 2 アフリカ各国挨拶

南スーダン共和国外務・国際協力大臣、

ナイジェリア連邦共和国上院議員兼大統領次席補佐官、エジプト・アラブ共和国水資源・灌漑大臣（ビデオメッセージ）

#### 3 国際共催機関挨拶

国連事務総長特別代表（防災担当）兼国連防災機関長（UNDRR）、国連地域開発センター（UNCRD）所長、OECD開発センター局長、アフリカ開発銀行（AfDB）水・衛生部門ディレクター／アフリカ水基金調整官、世界銀行（WB）防災グローバル・ファシリティ（GFDRR）代表（ビデオメッセージ）

#### 4 基調講演

水災害・リスクマネジメント国際センター（ICHARM）センター長、宇宙航空研究開発機構（JAXA）理事長、国際協力機構（JICA）理事

#### 5 日本政府・企業・自治体・関係機関等の取組・活動紹介

国土交通省、国連工業開発機関（UNIDO）東京事務所、水資源機構（JWA）、横浜市水道局、横浜ウォーター株式会社、株式会社クボタ、株式会社長大、株式会社Synspective



横浜市水道局による取組の紹介

## 第3回ユースドライブ 政策から行動へ、共創で未来を拓く

TICADの歴史において初となる若者主導の会議「Youth TICAD」最終日に開催された『第3回ユースドライブ』において、アフリカと日本の若者による「TICAD9 ユース政策提言プロジェクト」の成果として、行動宣言『Youth Agenda 2055』の正式発表が行われたほか、TICAD9の先を見据え、地域・世代を超えた共創の可能性などについて意見が交わされました。

また、「横浜からアフリカにつながる学生プロジェクト（P63参照）」で制作された動画を紹介したほか、プロジェクト参加学生がアフリカ訪問で感じたことや、それを「国際協力」「共創」の形に発展させ、数年後に実現させたい未来について発表しました。

### 開催概要

- 日時：2025年8月20日(水)12:00~13:20  
会場：パシフィコ横浜 展示ホールD  
共催：Youth TICAD実行委員会、アフリカアジアユースネスト (AAYN)、在日アフリカ人ネットワーク (ADNJ)、国際協力機構 (JICA)、国連開発計画 (UNDP)、国連ボランティア計画 (UNV)  
後援：経済同友会、東京大学、東京倶楽部、豊田通商株式会社、三井住友銀行、横浜市国際局



### 内容

#### 開会の挨拶

- エルシー・ジェキーワ・アタファ  
UNDPナイジェリア常駐代表

#### 開会のビデオメッセージ

- 上川 陽子 衆議院議員

#### Youth TICAD 2025の成果

- 休場 優希 一般社団法人アフリカアジアユースネスト (AAYN) 共同代表
- ダニエル・ジニヤマ インターコンチネンタル・ユース・コネクト (IYC) 渉外部門長



学生プロジェクト参加者による発表

#### スペシャル・パネルセッション：共創が始まる瞬間

- 休場 優希 一般社団法人アフリカアジアユースネスト (AAYN) 共同代表
- パトラン キング UNDPアフリカ地域局親善大使
- デイヴィッド・ボンデウ 在日アフリカ人ネットワーク (ADNJ) 代表理事
- 鈴木 貴子 衆議院議員
- 渋谷 健 シブサワ・アンド・カンパニー株式会社代表取締役
- ウスビ・サコ 公益社団法人2025年日本国際博覧会協会副会長 兼グローバル・コミュニケーション・ディレクター/東京都公立大学法人理事

#### 閉会の挨拶

- 大場 雄一 国際協力機構 (JICA) 理事

#### 『Youth Agenda 2055』手交

- 英利 アルフィヤ 外務大臣政務官
- デイヴィッド・ボンデウ 在日アフリカ人ネットワーク (ADNJ) 代表理事
- 休場 優希 一般社団法人アフリカアジアユースネスト (AAYN) 共同代表